

日立東大ラボ10周年記念国際シンポジウム

日立ICL共同センター 合同開催

自然および 生物多様性による サステナビリティへの 価値創造

Value Creation for Sustainability through
Nature and Biodiversity

2026年7月6日
MONDAY 15:00-17:40

東京大学 弥生講堂一条ホール 及び ZOOM

参加費:無料 日英同時通訳



申し込みページ: <https://www.ht-lab.ducr.u-tokyo.ac.jp/2026/05/08/news079/>

問い合わせ先: 日立東大ラボ事務局 東京都文京区本郷 7-3-1 20260706sympo@ht-lab.ducr.u-tokyo.ac.jp

SUMMARY

世界的な地政学的な情勢変化に伴い、国や地域のサステナビリティは大きな変化点を迎えています。このような変化の中で、自然や生物多様性はエネルギーや気候変動といった大きな潮流のサステナビリティを支える価値として注目できる貴重な地域の資産です。本シンポジウムでは、国や地域の貴重な資産としての自然や生物多様性の価値を考えるとともに、生物多様性がビジネスシーンにおける価値形成につながっている欧州の事例も取り上げ、国や地域のサステナビリティにおける自然や生物多様性の役割について討論します。

PROGRAM

1. 開会挨拶 小宮山 涼一(東京大学) / 額賀 信尾(日立製作所)
2. 本シンポジウムの狙い 小宮山 涼一(東京大学)
3. 基調講演 「社会とビジネスに貢献する精密評価エコシステム」 Will Pearce (Imperial College London)
4. トピック講演 「社会とビジネスに貢献する生物種の精密評価」 Lucy Somekh (Imperial College London)
「陸海一体の栄養管理ソリューションによるブルーカーボン生態系機能の高度化」 TeoSzeKai Kenneth (日立製作所)
「中長期エネルギーシナリオにおける炭素吸収の重要性と自然活用への期待」 吉本尚起(日立東大ラボ)
5. パネルディスカッション
「自然および生物多様性によるサステナビリティへの価値創造」
パネリスト | 永田綾(環境省) / Will Pearce (Imperial) / 小宮山涼一(東京大学)
6. 閉会挨拶 津田 敦(東京大学) / 杉村 和之(日立製作所)